

環境報告書2023

NECファシリティーズ



CONTENTS

ごあいさつ	3
会社概要	4
事業概要	5
環境方針	6
会社組織図	7
環境管理組織図	7
2022年度 環境活動ハイライト	8
1. 省エネルギー対応	
2. 省資源対応	
3. 災害対策ソリューション	
4. 環境コミュニケーション	
2022年度 環境負荷データ	13
2022年度 環境管理活動目標・実績	14
環境負荷バランス	14
2023年度 環境管理活動計画	15
環境コンプライアンス状況（法令順守）	15
関連HPのご紹介	15
連絡先等	巻末

ごあいさつ

NECファシリティーズはお客様の工場施設運営を重要経営戦略としてとらえ、Factory life cycle management(用地取得、工場建設、施設管理、工場改修等)をESG視点で最適な状態にするために、保有、運営、維持を継続的に改善、改革するTotal IFM(Integrated Facility Management)で貢献する企業です。多角的かつ専門性を有した事業見地で工場施設運営の計画立案から運用までを一括でアウトソーシングが可能です。これによりお客様はリソースをコア事業に注力することができ、災害・カーボンニュートラル・規制に対する経営効率と、成長力の更なる向上が期待できます。

Total IFM は施設管理事業、建設事業、環境事業、不動産事業、保険事業の5つの事業のシナジーによって、管理・修繕を中心とする従来の施設管理はもとより、包括的で経営的な視点から、施設・設備の構想・設計、設備の調達・施工方法の選択、施設設備の状態診断から維持管理効率の改善を実施し、お客様の経営基盤の一つである工場施設の資産効率を改善しております。また、半導体・電子部品、医薬品工場等で培った5つの事業領域のマイスターの知見やノウハウに加え、NEC DX Facility Management Serviceによりデータ化された施設設備の状態に基づく製造ラインを止めない運用と、変化対応力のある投資計画の策定など、お客様の工場施設運営の効率化、将来に向けての最適化をはかってまいります。

2022年度もさまざまな環境事業を展開いたしました。特に、

- データセンター等における国内トップクラスの省エネ性能のご提供
- 排気処理・排水処理の設備工事に関する環境ソリューションのご提供

について、お客様より多くのご支持、ご好評をいただいています。

今後も当社の事業を通じ、全社をあげてご支援、環境貢献に努めてまいります。

この度、2022年度に当社が行った環境活動を「環境報告書2023」として発行し、ご紹介させていただく運びとなりました。

つきましては、是非ご高覧いただき当社の環境活動への取り組みをご理解いただくとともに、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

NECファシリティーズ株式会社
代表取締役執行役員社長

橋谷 直樹



会社概要

社 名 : NECファシリティーズ株式会社 (略称:NECF)

創 立 : 1966年12月

本社所在地 : 〒105-0014 東京都港区芝二丁目22-12 (NEC第二別館)

資 本 金 : 2億4千万円

代 表 者 : 代表取締役執行役員社長 橋谷 直樹

従 業 員 数 : 1,807名 (2023年4月1日現在:NECF単独)

売 上 高 : 1,225億円 (2022年度:NECF単独)

会社の沿革

1966年
12月

日電興産株式会社 創立

1993年
10月

日電興産株式会社が株式会社NECファシリティーズに社名変更

2001年
4月

株式会社NECファシリティーズより、オフィス管理・セキュリティ事業の営業譲渡を受けた
NECコンストラクション株式会社と、NEC環境エンジニアリング株式会社が合併し、
NECアメニプランテクス株式会社に社名変更

2004年
10月

株式会社NECファシリティーズとNECアメニプランテクス株式会社が合併し、
NECファシリティーズ株式会社に社名変更

Total IFM

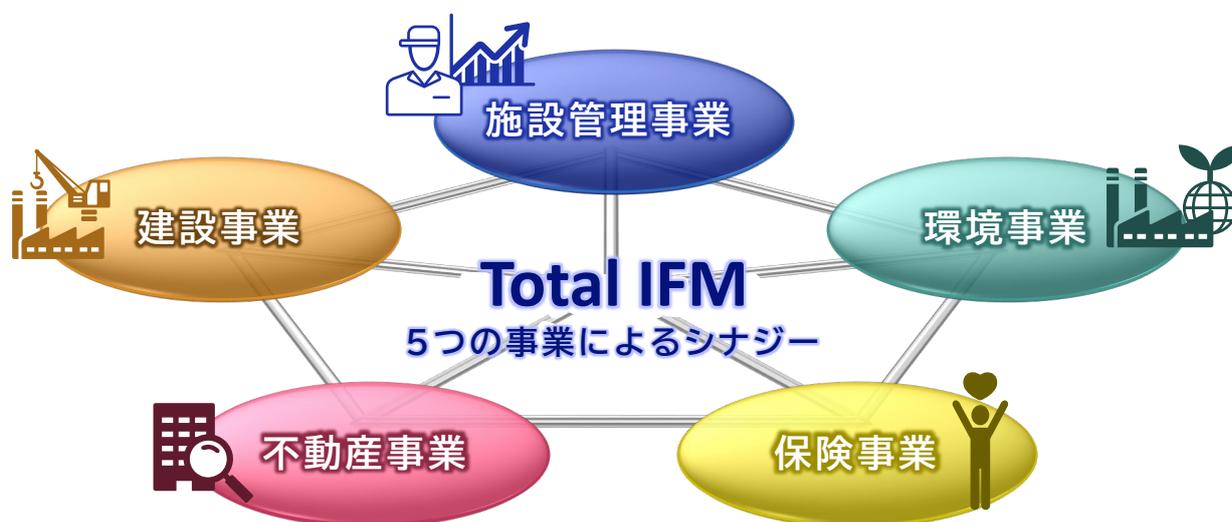
Total Integrated Facility Management

多様化するニーズに的確に対応し、
お客様の潜在的な課題まで解決します。

当社は、お客様の重要な経営資源である工場施設のFactory life cycle managementにTotal IFM(施設管理、建設、環境、不動産、保険の5つの事業のシナジー)で貢献する企業です。

私たちの大きな特長は二つ。一つは、5つの事業がお互いに連携を図ることにより、幅広い視点からお客様の課題やニーズに対応できること。もう一つは、5つの事業においてさまざまな公的資格取得者を擁する“工場施設運営のプロフェッショナル集団”として、お客様の潜在的な課題まで見いだして解決策を提案できる点です。

お客様の資産価値を維持・向上させ、より効率的・安定的な経営環境を実現するビジネスパートナーとして、各事業分野の総力を結集して多彩なサービスを創出していきます。



環境方針

基本方針

NECファシリティーズは、不動産、建設、オフィス管理、プラント施設、環境、保険の事業活動を通じて、一人ひとりの意識の向上を図り、人と地球に優しい循環型社会の形成と環境保全に貢献します。

行動指針

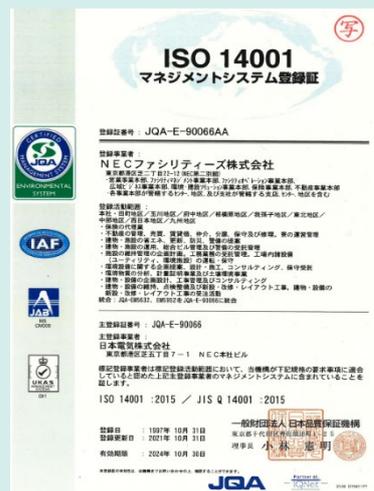
1. 全ての事業領域において企画・計画の段階から環境・安全に配慮し、省資源・省エネルギー、廃棄物発生抑制、再利用・資源化を進め環境影響の低減に努めます。
2. 環境に関する法規制・条例や自主的な取り決め事項を順守し、お客様や社会への責任を果たします。
3. 経営活動の一環として環境目標を設定し、改善活動を展開すると共に定期的に見直しを行い、環境パフォーマンスの継続的な改善と汚染の予防に努めます。
4. 環境方針は、従業員への環境教育・訓練の徹底と共に、協力会社への指導・支援を含め周知し、一般の人が入手可能なように開示します。

第七版
2023年6月20日
NECファシリティーズ株式会社
代表取締役執行役員社長
橋谷 直樹

*環境方針は社外のどなたでも入手又は閲覧できます。

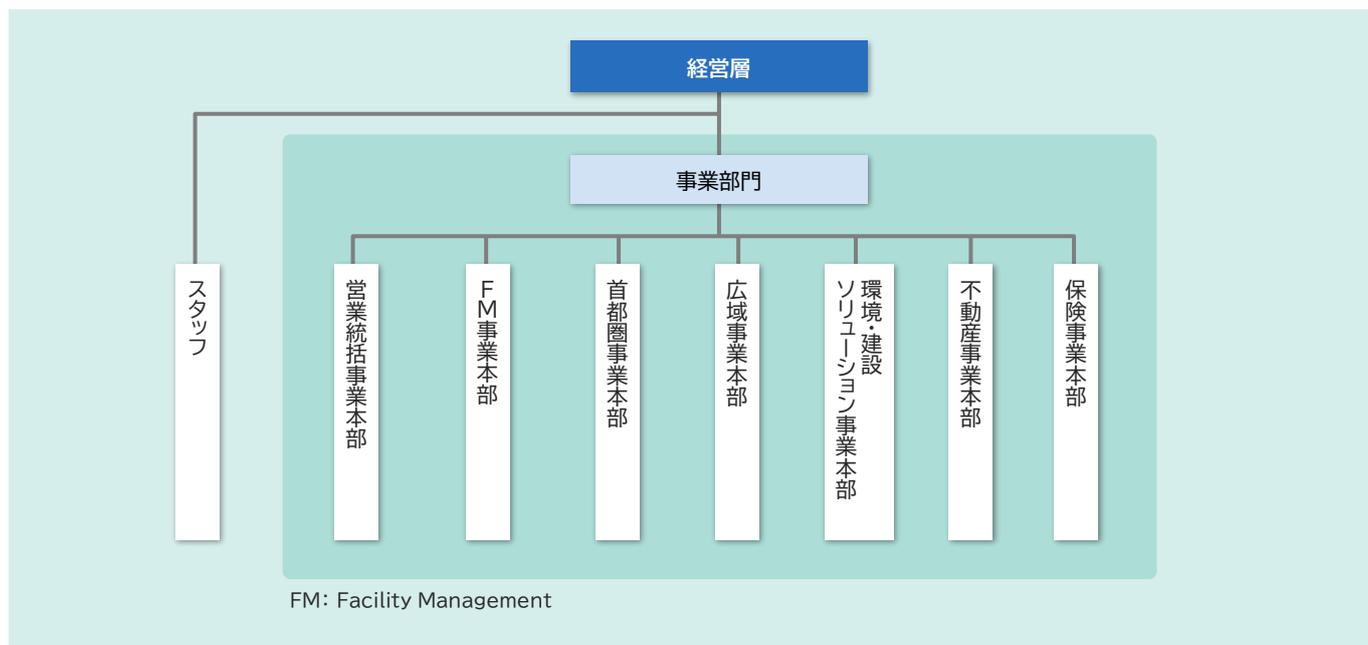
● ISO14001認証状況

審査機関 : 一般財団法人 日本品質保証機構(JQA)
登録日 : 1997年10月31日
登録証番号 : JQA-E-90066
登録事業者名 : NECファシリティーズ株式会社
東京都港区芝二丁目22-12(NEC第二別館)



環境国際規格「ISO14001」認定登録証

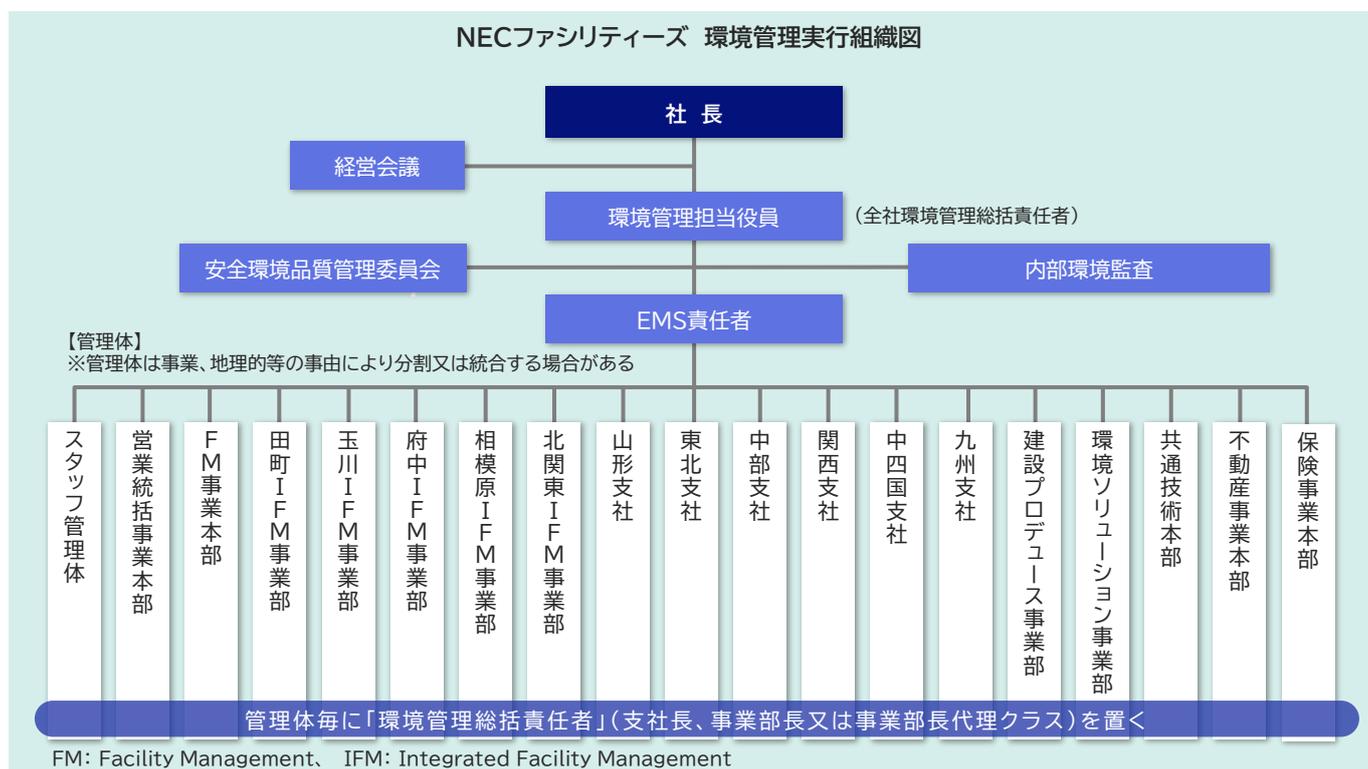
会社組織図



※2023年7月1日現在

環境管理組織図

当社では、経営会議により方針を決定し、それを受け、全社環境管理総括責任者による環境管理活動を展開しています。日常の活動は、環境マネジメントシステム責任者(EMS責任者)が取りまとめを行い、各管理体(事業部門)選出の環境管理総括責任者/統括責任者等によって環境マネジメントが実行されています。また、重要事項は環境管理総括責任者で構成される安全環境品質管理委員会により協議、伝達されます。



※2023年7月1日現在

2022年度 環境活動ハイライト

1. 省エネルギー対応

■省エネルギー対応の最適化ソリューションをご提供

当社は、立地の選定から企画、構築、運用管理面までをワンストップでご支援し、「省エネを進めたい」「運用コストを減らしたい」などのニーズに対するトータルサポートを行っています。またZEB※1についてもコンサルティングから、設計・施工、実現後の施設管理の運用フェーズまで、一貫したサポート体制で顧客に最適なソリューションを提供しています。

※1 Net Zero Energy Buildingの略称

【NECイノベーション新棟(仮称)建設プロジェクト】

プロジェクトの新棟は、NECで最先端技術の開発や新事業開発などイノベーション創出に関わる組織を中心に、NECの様々なアセットを活用しながら、世界中のスタートアップやパートナーと交わり、オープンイノベーションで社会価値を創造する「知の創造の場」となることを目指しています。

設計にあたり、組織と個人が最高のパフォーマンスを発揮できる環境を整備する「**Workplace Design**」、自然環境やエネルギーを利用し、豊かな緑地環境を創出する「**Green Design**」、2019年の台風被害を教訓とした災害に強い建物計画とする「**Resilience Design**」の3つを主要なコンセプトとしています。

【省エネ・創エネ施策の採用+DXを導入】

この建物では、吹抜けを利用した自然換気・自然採光、バルコニーによる日射遮蔽、屋上緑化による断熱、高効率空調(放射空調)、人感・照度センサーLED照明、Low-E複層ガラス※2等の省エネ施策、太陽光発電による創エネ施策を採用しています。

これらの各種施策により、建物の消費エネルギーを40%削減、CO₂排出量を50%削減しています。更に、DXの導入により+αの効果を狙っています。

※2 特殊金属膜をコーティングして遮熱・断熱性能を高めたガラス

自然エネルギーの活用

- ・太陽光発電 … ①
- ・吹抜け利用による大規模自然換気 … ②
- ・トップライトによる自然採光 … ③

日射遮蔽・高断熱

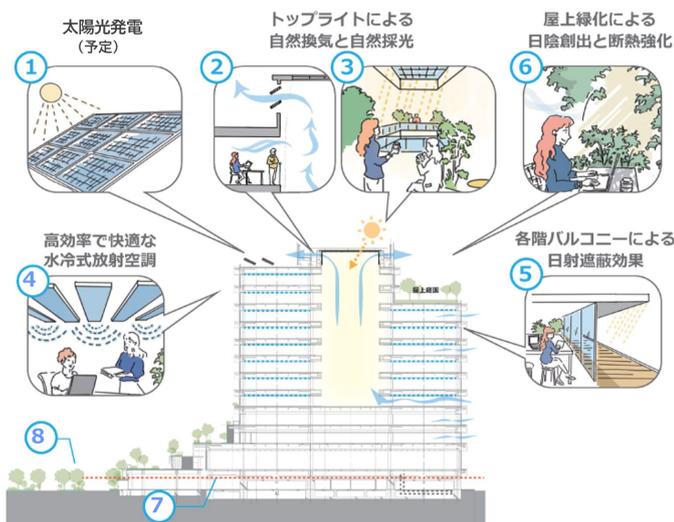
- ・各階バルコニーによる日射遮蔽 … ⑤
- ・屋上緑化、低層部バルコニー緑化による日陰創出と断熱強化 … ⑥
- ・Low-E複層ガラス、一部二重サッシの採用

工事負担の軽減

- ・浸水想定レベル上への主幹設備配置による災害時修復負担の削減 … ⑦
- ・地下掘削量最小限化※5による工事負担低減

緑豊かな環境づくり

- ・敷地のポテンシャルを活かす緑豊かな環境づくりによる都市環境負担の低減 … ⑧



新棟建設におけるカーボンニュートラルにむけた取り組み



NECイノベーション新棟(仮称) <イメージ図>

【新棟建設における環境配慮】

本新棟は、ZEB oriented※3 およびNEC既存ビル(ルネッサンスシティ、ソリューションセンター)同様のCASBEE川崎 Sランク※4 の達成を目指しています。

また、「災害に強い建物」をコンセプトに掲げ、2.6mの浸水高でもビル機能を損なわない機械設備配置や免震構造を採用しています。

※3 基準値から40%以上省エネの事務所、工場、学校等(面積10,000㎡以上の建築物)

※4 川崎市建築物環境配慮制度の最上位ランク

高効率な空調システム

- ・水冷式放射パネル空調 … ④
- ・(フリークーリング※6による冷却水利用)
- ・ヒートポンプ内蔵型水冷式空調機
- ・CO₂換気制御
- ・免震層外気取り入れクールピット

高効率な熱源システム

- ・高効率冷凍機、ヒートポンプユニット
- ・蓄熱層利用による熱源効率運転
- ・フリークーリング※6
- ・空調熱源へのミスト散布冷却
- ・送水復時の温度差拡大による送水量低減
- ・中温冷水(比較的高い温度の冷水)の利用

各種センサー制御

- ・人感、照度センサーによる照明制御
- ・画像センサーによる人流、放射温度検知
- ・リアルタイム人員検知によるプレ換気制御
- ・将来DX導入による各種システムの一括管理と、収集データのフィードバックによるさらなる最適制御への試み

※5 地下に部屋や水槽を造らないことで掘削量を削減
※6 寒期などに外気を使った冷却をすること

■再生可能エネルギーソリューションをご提供

当社は、太陽光発電システム導入において、現状把握から最適提案、発電量・日影シミュレーション、設計・施工、効果確認、メンテナンスまでワンストップ体制で取り組んでいます。2022年度も多くの太陽光発電システムをご提供しました。



【ご提供事例】



【太陽光発電システムのご提供プロセス】

	① 導入前検討	② 立案	③ 基本設計	④ 実施設計	⑤ 各官庁等協議	⑥ 構築	⑦ 評価	⑧ アフターフォロー
お客様	<ul style="list-style-type: none"> ● 目的の明確化 ● 導入時期検討 	<ul style="list-style-type: none"> ● 計画のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 設計プランの確認 	<ul style="list-style-type: none"> ● 工事契約 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各申請書類の承認 	<ul style="list-style-type: none"> ● 定例会議にて進捗確認 	<ul style="list-style-type: none"> ● 売電開始 	<ul style="list-style-type: none"> ● 維持管理委託
NECファシリティーズ	<ul style="list-style-type: none"> ● ニーズの確認 ● 既存図面入手 	<ul style="list-style-type: none"> ● 建物構造計算 ● 設置建物確認 ● 設置場所確認 ● 周辺環境確認 	<ul style="list-style-type: none"> ● パネル割付 ● 配線ルート ● 発電、日影シミュレーション ● 地盤地下対策 ● 概算金額提出 ● 投資回収試算 	<ul style="list-style-type: none"> ● 詳細設計 ● 施工図作成 ● 官庁届出用技術データ収集 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電力会社 ● 地方経済産業局 ● 地方自治体 ● 各スケジュール確認 	<ul style="list-style-type: none"> ● 施工管理 ● 定例会議にて進捗報告 	<ul style="list-style-type: none"> ● 発電量の確認 ● 導入変換機器効率評価 	<ul style="list-style-type: none"> ● 維持管理 ● 定期点検 ● 定期修繕

■その他の省エネルギー対策ソリューション

多くのお客様へさまざまな省エネルギー対策ソリューションをご提供しています。

- 建物：屋根の断熱性能改善、窓の断熱性能改善、自然エネルギー利用型建築 等
- 空調：空調機リプレース、換気量制御、換気からの熱回収 等
- 電気：高効率変圧器、力率改善、分散発電 等
- 照明：高効率器具への更新、LED機器、センサー照明、調光システムへの交換 等
- 動力：インバーター制御、ポンプ再生施策、高効率機器へのリプレース 等



LED照明の新オフィス



省エネ型空冷チラーへの更新



高効率コンプレッサーへの更新

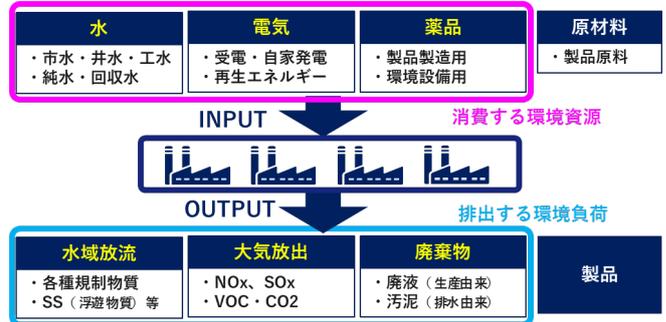
2. 省資源対応

■ 生産工場の環境負荷を低減するソリューションを展開

半導体、電子業界をはじめ化学薬品を多く扱う製造業においては、数多くの環境負荷が存在します。環境負荷という一般的なイメージは排出するイメージを持たれがちですが、工場で消費する環境資源も広い意味では環境負荷に該当します。

当社ではNECの半導体工場の構築、運転管理の経験を基に、これら環境負荷に対して工場全体のバランスも考慮しながら最適な環境負荷低減対策を提供します。

製造業が抱える環境負荷とは

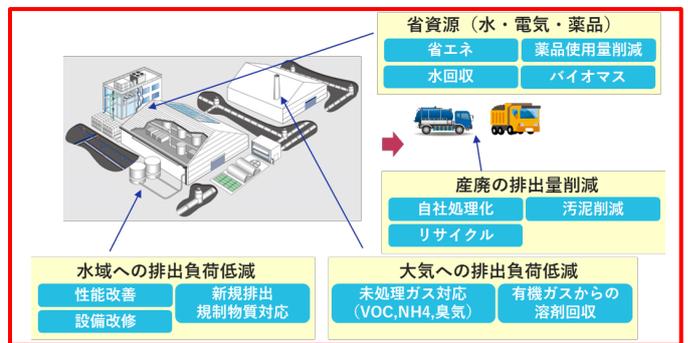


【当社の環境負荷低減ソリューションの特徴】

工場には製造で用いる薬品を供給する『薬品供給設備』や超純水を製造する『超純水製造設備』、製造を行う過程で発生する有害なガスを無害化する『排ガス処理設備』、製造で使用した有害な薬液が混じった排水・廃液を処理するための『排水処理設備』など数多くの環境付帯設備が存在します。

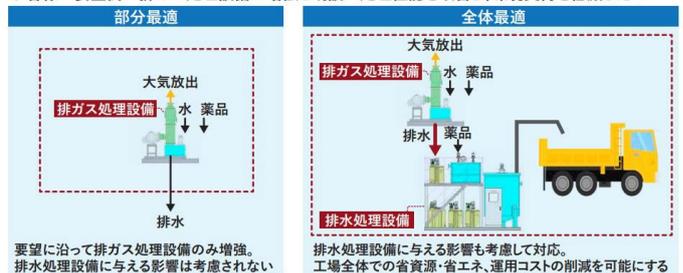
これらの設備は単独で成立するものは少なく、通常はそれぞれが密接に関連しており、ひとつの設備だけの最適化を求めてもその結果、他の設備に影響が及び、工場全体で見ると最適ではない結果が得られることがあります。当社ではこれを『部分最適』と呼んでおり、これまでNECの半導体工場の運営で培った経験を基に各設備の関連性を把握している当社では、各設備への影響をあらかじめ考慮した『全体最適』の視点で環境負荷低減対策を提供します。

総合的な環境負荷低減対策



『部分最適』と『全体最適』

お客様の要望例：排ガス処理設備の増強と既設の処理性能を改善し、環境負荷を低減したい

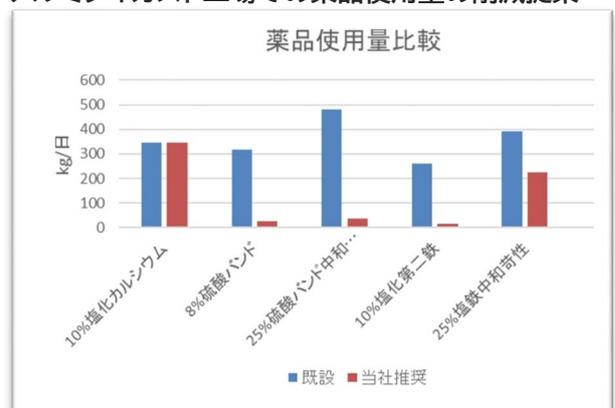


【アルミダイカスト工場における薬品使用量削減の取り組み】

アルミダイカストを製造するお客様において排水処理で使用している薬品の使用量を削減したいとの要望を頂き、排水成分および既存設備の調査、各種検証実験を行い、従来に比べて大幅な薬品使用量の低減が可能な処理方式をご提案し、現在、設備改造の提案を行っています。

環境負荷低減にご興味のあるお客様に当社のソリューションをさらに展開していきたいと考えています。

アルミダイカスト工場での薬品使用量の削減提案



■ 自動車保険/傷害疾病保険のWeb化

当社は、災害リスクに応じた保険のご提供や、環境に配慮した保険手続きを推進しています。ペーパーレス推進のため、自動車保険既契約者(約50,000名)に対し、Webでの更新手続きを進めており、当社保険サイトのトップページからWeb更新手続きに遷移できるような画面構成にしています。また、NECグループ団体傷害疾病保険(安心丸)既契約者(約30,000名)の加入状況を保険サイトから閲覧できるようにしております。

年1回実施しております安心丸の定期募集では、環境負荷軽減の観点から従来の“紙資材配布”による募集⇒“Web募集”への切替を推進しております。2022年度はグループ27社の完全Web募集を実現(対象:約67,000名)。これにより紙での配布物は、A3版換算で約140万枚の削減となっています。

団体傷害疾病保険
Web加入状況票

■ エコドライブ講習会の継続実施

当社はNECグループ各社および従業員に対し、交通安全運転講習会や、運転適性診断を実施し、エコドライブ推進等の環境改善活動に取り組んでいます。エコドライブはCO2削減による環境改善の他、事故を削減することにより、NECグループ従業員および一定要件を満たす退職者に適用される「団体扱自動車保険」大口団体割引率の維持拡大(2023年6月時点割引率:32.5%)にも繋がっています。

また、当社が取り扱う自動車保険契約企業に対し、交通安全運転講習会開催や、交通事故防止動画のYouTube配信といった当社独自の交通事故防止ソリューションを提供しています。自学自習可能な動画形式教材の活用により、マイカー通勤や、社有車を運転する従業員は都合の良い時に繰り返し学習することができ、自身の運転を振り返り、運転行動を変える効果が期待できます。



Web研修:エコ安全ドライブ



YouTube動画(毎月配信)

3. 災害対策ソリューション

■ 委託先の緊急対応訓練

大地震、津波、集中豪雨(豪雪)などを想定した訓練を行うなど、環境リスクはもとより地域特性や気象変動を考慮したさまざまなテーマで訓練を実施しました。

また、当社が受託する環境関連施設からの重油漏洩を想定した訓練も実施しました。これにより、迅速な緊急対応力の向上はもとより、備品・器具等を効率的に運用・見直すことができました。2022年度は、NECグループ外を含めて288件の訓練を実施しています。



電気設備の高上げ洪水対策



ボイラー緊急停止



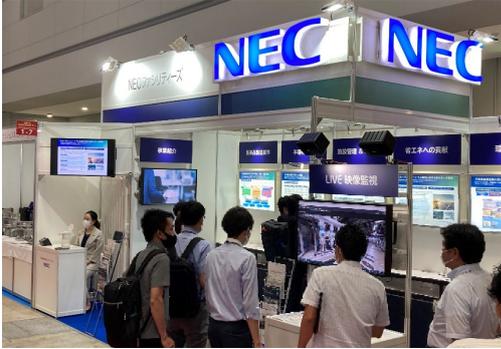
薬品漏洩時のバルブ閉止

2022年度 環境活動ハイライト

4. 環境コミュニケーション

■ イベント等での環境対応ソリューションの紹介

2022年度は「フードファクトリー展」「インターフェックスジャパン」など、国内の大型展示イベントへ出展し、省エネ技術、高効率施設管理など多くの当社の持つ環境関連技術をお取引先の皆様へご紹介することができました。当社ではお取引先企業を対象にしたセミナー開催のなかで、これらの環境対応ソリューションも紹介しています。



インターフェックスジャパン出展(医薬業界向け展示会)



化学業界向けBCPセミナー

日本の製造業を代表する電子デバイス製造企業を固定メンバーとして、半導体工場運営ファシリティ分科会を通年で4回、参加企業の拠点で開催しています。

ファシリティ部門の管理職の方を対象とし、講義型ワンウェイ方式ではなく、エネルギーマネジメントや効率的な施設管理運営など抱える課題や深めたい知見を参加企業間で議論したり、意見交換を行う場となっています。



半導体工場運営ファシリティ分科会

■ 生物多様性保全・地域とのコミュニケーション

環境イベントも少しずつ再開されるようになり、当社が常駐する事業所の生物多様性保全活動・地域社会貢献活動の開催支援や活動参加を行いました。また、NEC我孫子事業場の四つ池を中心に展開している生物多様性活動が、千葉県功労者表彰を受賞しました。NEC我孫子事業場では2009年より継続して希少生物の保全活動を推進しており、今回その活動が千葉県より評価されたものです。

環境活動支援/参加事例

- 2022.06.05, 10.30 相模原IFM事業部 「相模川クリーン作戦」
- 2023.05.14 大分FM事業所 「大新田海岸ビーチクリーン」
- 2023.05.27 府中IFM事業部 中河原FM事業所 「多摩川清掃市民運動」、他



相模川クリーン作戦

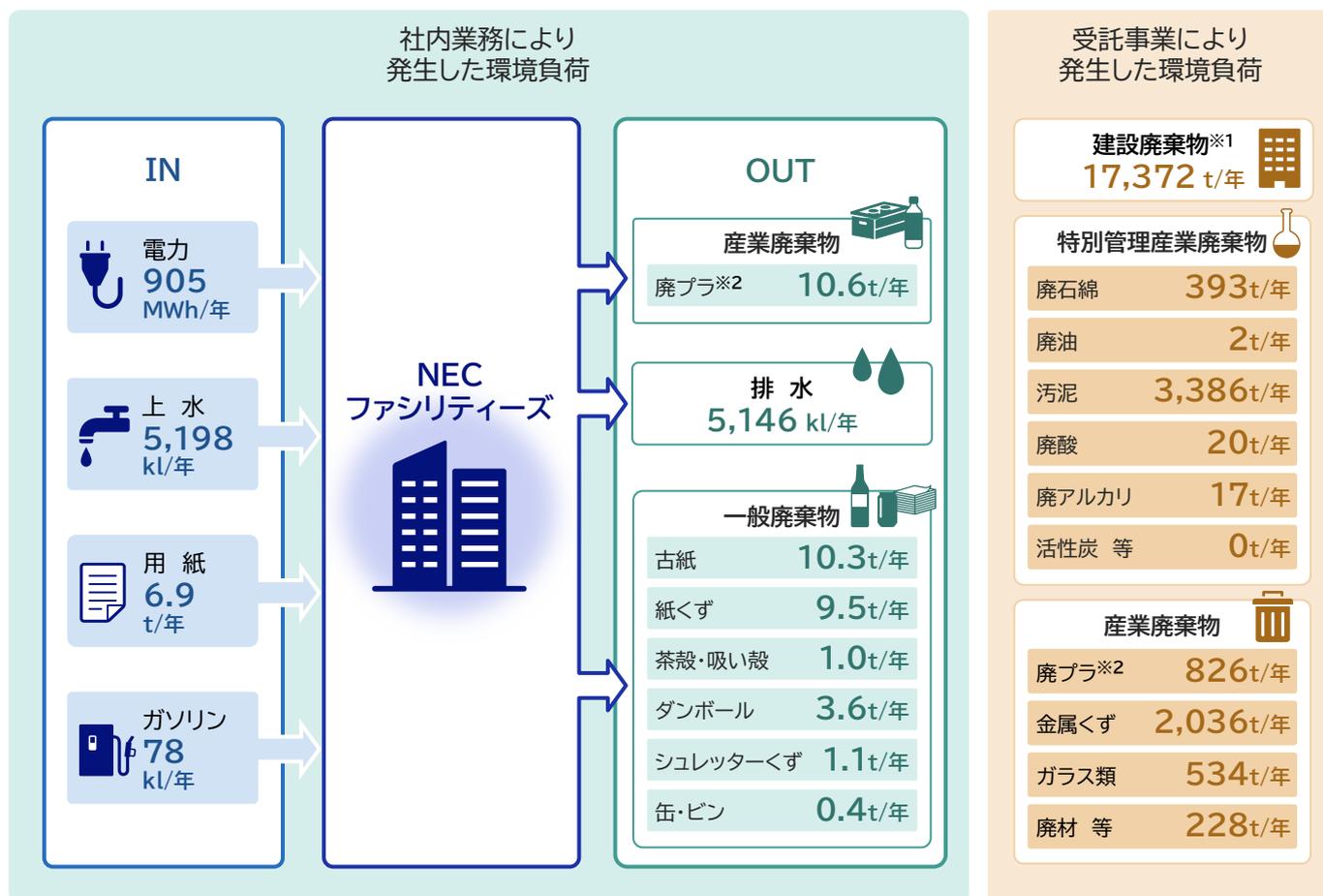


大新田海岸ビーチクリーン(大分)



NEC我孫子事業場の四つ池
(左上:千葉県功労者表彰)

2022年度 環境負荷データ



※1:建設廃棄物についてはリサイクル率95%以上を達成しています

※2:廃プラについては「プラスチック資源循環促進法(通称:新プラ法)」に準拠し、「産廃契約書の管理」「産廃マニフェスト伝票管理」「産廃処分場現地確認」「廃棄物管理教育(環境管理専門教育)」により、排出抑制や再資源化促進等を実施しています。

【社内業務により発生した環境負荷】

電力 : 本社(NEC第二別館)及び当社がテナント入居する12ビルの合算使用量です。

上水 : 本社(NEC第二別館)の飲料及び生活用途での使用量です。

用紙 : 当社全体のコピー用紙等の購入量です。

ガソリン : 当社全体の営業車燃料の購入量です。

産業廃棄物 : 本社(NEC第二別館)で発生した廃プラの排出量です。※全てサーマルリサイクルされています。

一般廃棄物 : 本社(NEC第二別館)で発生した事業系一般廃棄物の排出量です。

※古紙は機密文書、古紙、MIX紙の排出量です。

※古紙、ダンボール、シュレッダーくず、缶・ビンはマテリアルリサイクルされています。

※紙くず、一般ゴミ等はサーマルリサイクルされています。

排水 : 本社(NEC第二別館)で発生した生活排水量です。

省エネ法 : 電力使用量並びに都市ガス使用量の原油換算値は省エネ法特定事業者(原油換算1500kl)には該当ませんが、当社では省エネプロジェクトを発足し本社(NEC第二別館)及び当社がテナント入居する12ビルの省エネ推進を実施しています。

【受託事業により発生した環境負荷】

建設廃棄物 : 建設元請け事業により発生した建設廃材等の排出量です。

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物 : 建設元請け事業やその他の受託事業で発生した廃プラ、廃石綿、廃酸等の排出量です。

2022年度 環境管理活動目標・実績

環境目的・目標	評価指標	目標値 / 実績値		評価
目的 1 重大環境事故・法令違反の未然防止。 目標：発生件数0件	発生件数 (件)	目標	0件	○
		実績	0件 (軽微:3件発生)	
目標①：事業内容や地域の特性を考慮し、想定した緊急事態対応訓練を実施する。 目標：実施率100%	訓練実施率 (%)	目標	100%	◎
		実績	100%	
目標②：NEC環境教育(eラーニング)を受講する。 目標：受講率95%以上	受講率 (%)	目標	95%以上	◎
		実績	100%	
目的 2 ご提案書又はそれに準ずる帳票を活用した環境・省エネ提案を行う。 目標：1000件以上	提案件数 (件)	目標	1,000件	◎
		実績	1,227件	
目的 3 NECF対象ビルの電力使用量を2017年度比CO ₂ 換算で10.7%以上削減する。 目標：537.1 t-CO ₂ 以下	13ビル電力使用量	目標	537.1t-CO ₂ 以下	◎
		実績	399.1t-CO ₂	
目的 4 生態系・生物多様性保全に寄与する活動に参加する。 目標：500件以上/保険、不動産、スタッフ	参加件数 (件)	目標	500件	◎
		実績	836件	

※「2022年度 当社環境管理実施計画書[進捗管理](全社版)」より抜粋

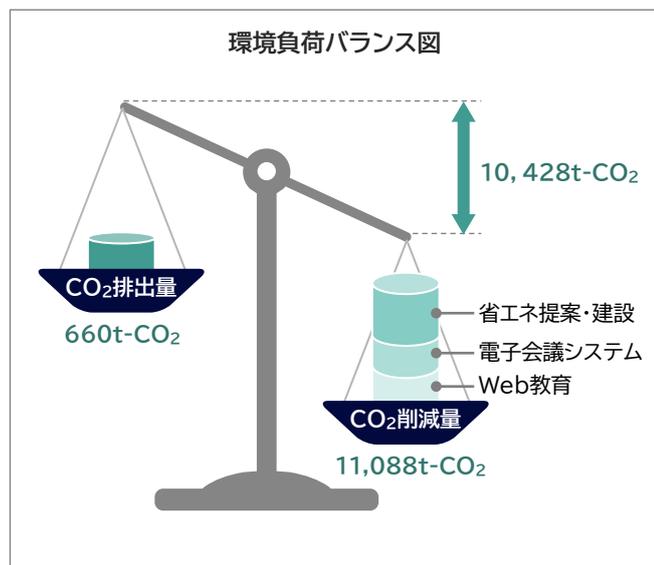
※ 評価基準 ◎:達成 ○:ほぼ達成 △:一部達成 ×:未達成

環境負荷バランス

下図は、当社が2022年度に「お客様への環境提案」や「社内の電子化」等により削減した「貢献CO₂」をイメージしたものです。

当社がお客様への省エネ提案や建設事業を通じて削減したCO₂及び当社内での電子会議やWeb教育導入により削減したCO₂の合算値は、約11,088t-CO₂/年でした。

一方、当社内で電気・ガソリン・ガス・出張・紙等の使用による排出したCO₂の合算値は、約660t-CO₂/年でした。上記の削減CO₂から排出CO₂を差し引いた約10,428t-CO₂/年が当社の貢献CO₂です。



区分	項目	t-CO ₂
削減貢献の部	1 当社の事業(サービス提供)による貢献CO ₂	
	1.1 省エネ提案による貢献CO ₂	11,043
	1.2 省エネ建築物の建設による貢献CO ₂	-
	2 植林活動の参加による貢献CO ₂	0.4
	3 電子会議システムの活用による削減CO ₂	37
4 Web教育の導入による削減CO ₂	8	
削減貢献量		11,088
排出の部	a オフィスでのエネルギー使用	
	a.1 電気使用(13ビル)	399
	a.2 水使用(本社)	0.1
	b ガソリン使用	180
	c 出張(遠地出張)	74
d 紙使用	7	
使用・排出量		660
削減貢献量		10,428

2023年度 環境管理活動計画

環境目的・目標	目標値
目的 1 重大環境事故・法令違反の未然防止。 目標①：事業内容や地域の特性を考慮し、想定した緊急事態対応訓練を実施する。 目標②：NEC環境教育(eラーニング)を受講する。	発生件数 0件 実施率 100% 受講率 95%以上
目的 2 エコアピールプロポーザルの推進を行う。 目標①：ご提案書又はそれに準ずる帳票を活用した環境・省エネ提案を行う。	1,100件以上
目的 3 NECF対象ビルの電力使用量を削減する。 目標①：NECF対象ビルの電力使用量を2017年度比CO ₂ 換算で25.2%以上削減する。 ※2017年度:電力使用量(CO ₂ 換算:449.9t-CO ₂) ※-25.2%算出式 601.5×0.748=449.9t-CO ₂ /984.5MWh ※CO ₂ 換算係数 2017年度:0.491t/MWh 2023年度:0.457t/MWh	449.9t-CO₂以下 (984.5MWh以下)
目的 4 生態系・生物多様性保全に寄与する活動に参加する。 目標①：650件以上/保険、不動産、スタッフ ※目標内訳：保険事業本部:150件、不動産事業本部:100件、スタッフ管理体:400件	650件以上

※「当社エコアクションプラン2023」より抜粋

環境コンプライアンス状況(法令順守)

当社は、定期的に環境関連法規制の順守状況を確認しています。

また、NECによる環境経営監査、外部審査機関による環境ISO審査をはじめ、NECグループ全社員対象の「NECコンプライアンス研修」(Eラーニング)でも環境コンプライアンス状況の確認を行っています。

2019年 6月 法律その他の要求事項確認結果 →不順守事項なし
 2020年 7月 法律その他の要求事項確認結果 →不順守事項なし
 2021年 6月 法律その他の要求事項確認結果 →不順守事項なし
 2022年 6月 法律その他の要求事項確認結果 →不順守事項なし
 ※2022年6月以降、受託事業での軽微な違反3件あり是正処置済み
 2023年 6月 法律その他の要求事項確認結果 →不順守事項なし



環境ISO審査



NEC環境経営監査

関連HPのご紹介

NEC (環境ページ) ▶ <https://jpn.nec.com/eco/ja/>
 NECファシリティーズ ▶ <https://www.necf.jp/>

※HPアドレスは2023年7月現在のものです



Fun to share
みんなでシェアして、低炭素社会へ。

NECファシリティーズ(株)は『Fun to Share』に参加し、社員一丸となって、低炭素社会にむけた取り組みを行っています。

賛同
宣言文

NECファシリティーズは、省エネソリューションサービスを通じて、人と地球に優しい低炭素社会の形成に貢献します。

ご質問/ご意見等をお寄せください…

ご質問/ご意見等がございましたら、お手数ですが下記の発行元/連絡先までお寄せください。

●発行元/連絡先

発行：2023年 8月

連絡先：〒105-0014 東京都港区芝二丁目22-12(NEC第二別館)

NECファシリティーズ株式会社

IFM品質保証部

TEL:03-5476-5608